

平成23年度九州大学大学院人文科学府修士課程学生募集要項

大学院人文科学府修士課程の学生を第1期と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			国語学・国文学
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	中国文学		
日本史学	日本史学		言語・文学	英語学・英文学	
アジア史学	東洋史学	西洋文学		独文学	
	朝鮮史学			仏文学	
	考古学	言語学		言語学	
募集人員			56名(第1期と第2期の合計)		

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格

九州大学大学院人文科学府修士課程に入学を志願できる者は、次のとおりである。

- (1) 大学を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成23年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院の学府において、本大学院の学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月31日までに22歳に達する者
- (10) 本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(出願に関する注意事項)

【注1】有職者の場合、願書提出前に九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係にその旨申し出ること。

【注2】(8)、(9)、(10)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記書類を、第1期については平成22年7月15日(木)、第2期については平成22年11月25日(木)までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する。日時については、別途連絡する。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書・履歴書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 最終学校作成のもの
- ・卒業証明書 最終学校のもの
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等、A4判 4,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間

第1期 平成22年7月30日(金)から8月6日(金)17時まで(必着)

第2期 平成22年12月10日(金)から平成23年1月11日(火)17時まで(必着)

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係(〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1)宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書、履歴書、受験票(いずれも本要項綴込の用紙)及び写真3葉(縦3.5cm×横2.8cm, 3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること)
- (2) 出身大学(学部)長の成績証明書
- (3) 卒業(見込)証明書(出願資格②により出願する者は提出を必要としない)
- (4) 大学評価・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請受理証明書(出願資格②に該当する者のみ。ただし、出願時に大学評価・学位授与機構の認定専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の当該専攻科に在籍している者は、在籍する学校長が発行する学士の学位授与申請予定証明書でも可)
- (5) 研究計画書・論文等
次の(イ)又は(ロ)のいずれかを提出すること。
(イ) 志望専修に関わる研究計画書又は研究概要(A4判 6,000字以内)
(ロ) 志望専修に関わる卒業論文、あるいはそれに代わるべき論文がある者は、当該論文又はその写し
(注) 論文は他の出願書類とは別便で送付してもよいが、願書受付期間内に必着のこと。
- (6) 検定料30,000円(本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること)
- (7) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
- (8) 住所票(本要項綴込の用紙 志望専攻, 住所, 氏名を記入したもの)

5. 入学者選抜方法

- (1) 筆記試験及び口頭試問

専 修	筆 記 試 験		口 頭 試 問
	外国語科目	専 修 科 目	
哲 学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語の うちから1選択 (注)	哲 学	提出された研究計画書・論文等及び専修科目等について
倫 理 学		倫 理 学	
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験(サンスクリット, 古典チベット語のうちから1選択)を課すことがある	
中国哲学史		中国哲学史(漢文読解を含む)	
芸 術 学		芸 術 学	
日 本 史 学		日 本 史 学	
東 洋 史 学		東 洋 史 学	
朝 鮮 史 学		朝 鮮 史 学	
考 古 学		考 古 学	
西 洋 史 学		西 洋 史 学	
イスラム文明史学		イスラム文明史学に加えて関連する語学の試験(アラビア語, ペルシア語, トルコ語のうちから1選択)を課すことがある	
地 理 学		地 理 学	
国語学・国文学		国 語 学 ・ 国 文 学	
中国文学		中 国 文 学	
英語学・英文学		英 語 学 ・ 英 文 学	
独 文 学		独 文 学	
仏 文 学	仏 文 学		
言 語 学	言 語 学		

(注) 「英語学・英文学」は英語を, 「独文学」は独語を, 「仏文学」は仏語を, 「中国文学」は中国語を選ぶことはできない。

- (2) 研究計画書・論文等の審査 提出された研究計画書・論文等の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
平成22年9月7日(火)	外国語科目	9:30 ~ 11:00	九州大学 国際ホール
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
平成22年9月8日(水)	口頭試問	別途指示する。	

第2期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
平成23年2月3日(木)	外国語科目	9:30 ~ 11:00	九州大学 国際ホール
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
平成23年2月4日(金)	口頭試問	別途指示する。	

(注) 試験場 10頁の位置図を参照

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 第1期 平成22年9月17日(金) } いずれも、午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示する
第2期 平成23年2月10日(木) } と共に、郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも平成23年2月下旬に送付する。

8. 入学科・授業料等の納入金額

- (1) 入学科 282,000円(予定)
(2) 授業料 前期分 267,900円(予定) 又は前・後期分 535,800円(予定)

(注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

9. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角形2号33cm×24cmに住所、氏名、郵便番号を明記し、240円切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「修士課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail : kakgakusei1@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

平成23年度九州大学大学院人文科学府 修士課程 [社会人入試] 学生募集要項

(一般社会人コース・高校教員等特別コース・文化財学特別コース)

大学院人文科学府修士課程の「一般社会人コース」、「高校教員等特別コース」、「文化財学特別コース」の学生を第1期と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

「一般社会人コース」は、一定の社会的経験を積んだ人で、高度な教養と専門的知識の獲得をめざす人を対象とする。

「高校教員等特別コース」、「文化財学特別コース」は、高校教員や学芸員等として社会的に活動している人で、さらに高度な専門的知識を身につけ、最新の知見を獲得することによって、その社会的活動の一層の充実をめざす人を対象とする。

1. 専攻, 分野, 専修及び募集人員

(1) 専攻, 分野及び専修

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史	地理学	地理学	
		中国哲学史	日本・東洋文学	国語学・国文学	
芸術学	芸術学	中国文学			
歴史空間論	日本史学	日本史学	言語・文学	西洋文学	英語学・英文学
	アジア史学	東洋史学			独文学
		朝鮮史学	仏文学		
		考古学	言語学		
			言語学		

「高校教員等特別コース」又は「文化財学特別コース」に出願しようとする者は、表に示す専攻・分野・専修を考慮の上、希望する指導教員（予定）と、内容等について事前に相談すること。
歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

(2) 募集人員 「一般社会人コース」10名程度、「高校教員等特別コース」及び「文化財学特別コース」若干名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、「一般社会人コース」については、大学卒業等の資格を得、その後3年以上の社会人としての経験を有する者、「高校教員等特別コース」及び「文化財学特別コース」については、出願時に高校教員や学芸員等の職に在職している者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院の学府において、本大学院の学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月31日までに22歳に達する者
- (10) 本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(出願に関する注意事項)

【注1】出願資格について不明な点があれば九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係に照会すること。

【注2】 (8), (9), (10)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記の書類を、第1期については、平成22年7月15日(木)、第2期については、平成22年11月25日(木)までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する。日時については別途連絡する。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書・履歴書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 最終学校作成のもの
- ・卒業証明書 最終学校のもの
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等、A4判 4,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間 第1期 平成22年7月30日(金)から8月6日(金)17時まで(必着)
 第2期 平成22年12月10日(金)から平成23年1月11日(火)17時まで(必着)

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係(〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1)宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書、受験票(いずれも本要項綴込の用紙)及び写真3葉(縦3.5cm×横2.8cm, 3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること)
- (2) 「高校教員等特別コース」又は「文化財学特別コース」を受験する者については、在職証明書(在職期間を明示)及び所属長の出願同意書
- (3) 卒業証明書
- (4) 出身大学(学部)長の成績証明書
- (5) 大学評価・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請受理証明書(出願資格(2)に該当する者のみ。ただし、出願時に大学評価・学位授与機構の認定専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の当該専攻科に在籍している者は、在籍する学校長が発行する学士の学位授与申請予定証明書でも可)
- (6) 入学志願理由書(研究計画を含む。A4判 6,000字以内)。論文等があれば参考資料として付すことができる。
- (7) 検定料30,000円(本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること)
- (8) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
- (9) 住所票(本要項綴込の用紙(シール)に志願者の専攻、住所、氏名を記入すること)

5. 入学者選抜方法

- (1) 筆記試験及び口頭試問
 筆記試験は、小論文(3コース共通)と専修科目(外国語を課すこともある)の試験を行う。
- (2) 入学志願理由書等の審査 提出された入学志願理由書等の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
平成22年9月7日(火)	小論文	9:30 ~ 12:30	九州大学 国際ホール
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
平成22年9月8日(水)	口頭試問	別途指示する。	

第2期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
平成23年2月3日(木)	小論文	9:30 ~ 12:30	九州大学 国際ホール
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
平成23年2月4日(金)	口頭試問	別途指示する。	

(注) 試験場 10頁の位置図を参照

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 第1期 平成22年9月17日(金) } いずれも、午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示する
第2期 平成23年2月10日(木) } と共に、郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも平成23年2月下旬に送付する。

8. 大学院設置基準第14条による特例の適用

大学院設置基準第14条による特例（有職者の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間は、通常の授業時間帯及び通常の時間帯以外の特定の時間又は時期に設ける）による教育の実施を希望する者は、合格発表後、速やかに指導教員（予定）から今後の研究・学習計画等について指導を受けること。但し、上記特例は、入学後2年目以降に適用する。

9. 入学料・授業料等の納入金額

- (1) 入学料 282,000円（予定）
- (2) 授業料 前期分 267,900円（予定）又は前・後期分 535,800円（予定）
（注）上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

10. 長期履修学生制度について

人文科学府では、修士課程学生で「社会人特別選抜」入学試験により入学した者がフルタイムの職を有し、このことにより長期履修を希望する場合は、申請により「標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了すること」が認められる。

この制度により、長期履修学生が修了するまで、1年間に納める授業料の額は、標準修業年限（2年）分の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数（3年）で除した額となる。

11. そ の 他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒（角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、240円切手を貼付）を同封のうえ、封筒表面に「修士課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail : kakgakusei1@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

平成23年度九州大学大学院人文科学府修士課程（外国人留学生入試）学生募集要項

大学院人文科学府修士課程（外国人留学生）の学生を第1期と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史	言語・文学	日本・東洋文学	国語学・国文学
		中国哲学史			中国文学
芸術学	芸術学	歴史空間論	西洋文学	英語学・英文学	
日本史学	日本史学			独文学	
アジア史学	東洋史学		言語学	言語学	仏文学
	朝鮮史学				言語学
	考古学				
募 集 人 員 若 干 名					

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格

外国人留学生として入学を志願できる者は、留学の目的をもって日本に入国した外国人又は入国しようとする外国人で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は平成23年3月修了見込の者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者
- (4) 日本の大学を卒業した者又は平成23年3月卒業見込の者
- (5) 本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

- 3. 願書受付期間** 第1期 平成22年7月30日（金）から8月6日（金）17時まで（必着）
第2期 平成22年12月10日（金）から平成23年1月11日（火）17時まで（必着）

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1）宛に郵送すること。又は本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書、履歴書（小学校入学以後の学歴、職歴等を明細に記入すること）、受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
- (2) 最終出身学校の成績証明書
- (3) 卒業（見込）証明書及び推薦書
- (4) 日本語の能力についての証明書
- (5) 研究計画書・論文等

次の（イ）又は（ロ）のいずれかを提出すること。

- (イ) 志望専修に関わる研究計画書又は研究概要（A4判 6,000字以内）
 - (ロ) 志望専修に関わる卒業論文、あるいはそれに代わるべき論文がある者は、当該論文、又はその写し
- （注） 1. 論文は他の出願書類とは別便で送付してもよいが、願書受付期間内に必着のこと。

2. 日本史学と国語学・国文学を志望する者の提出する研究計画書、研究概要、又は論文は日本語のものに限る。

- (6) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）

- (7) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
 (8) 住所票（本要項綴込の用紙 志望専攻、住所、氏名を記入したもの）

5. 入学者選抜方法

(1) 筆記試験及び口頭試問

専 修	筆 記 試 験			口 頭 試 問
	外国語科目	専 修 科 目	日 本 語	
哲 学		哲学	全専修に課す	提出された研究計画書・論文等及び専修科目等について
倫 理 学		倫理学		
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験（サンスクリット、古典チベット語のうちから1選択）を課すことがある		
中国哲学史		中国哲学史（漢文読解を含む）		
芸 術 学		芸術学		
日 本 史 学		日本史学		
東 洋 史 学		東洋史学		
朝 鮮 史 学		朝鮮史学		
考 古 学		考古学		
西 洋 史 学	英語、独語、仏語、中国語、朝鮮語のうちから1選択	西洋史学		
イスラム文明史学	英語、独語、仏語、中国語、朝鮮語のうちから1選択	イスラム文明史学に加えて関連する語学の試験（アラビア語、ペルシア語、トルコ語のうちから1選択）を課すことがある		
地 理 学		地理学		
国語学・国文学		国語学・国文学		
中 国 文 学		中国文学		
英語学・英文学		英語学・英文学		
独 文 学		独文学		
仏 文 学		仏文学		
言 語 学	英語、独語、仏語、中国語、朝鮮語のうちから1選択	言語学		

(注) 上記外国語科目中、母国語を選ぶことはできない。

- (2) 研究計画書・論文等の審査 提出された研究計画書・論文等の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試 験 日	試験科目	時 間	試 験 場
平成22年9月7日(火)	外国語科目	9:30 ~ 11:00	九州大学 国際ホール
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
	日本語	17:00 ~ 18:00	
平成22年9月8日(水)	口頭試問	別途指示する。	

第2期試験

試験日	試験科目	時間	試験場
平成23年2月3日(木)	外国語科目	9:30 ~ 11:00	九州大学 国際ホール
	専修科目	13:30 ~ 16:30	
	日本語	17:00 ~ 18:00	
平成23年2月4日(金)	口頭試問	別途指示する。	

(注) 試験場 10頁の位置図を参照

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 第1期 平成22年9月17日(金) } いずれも、午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示する
第2期 平成23年2月10日(木) } と共に、郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも平成23年2月下旬に送付する。

8. 入学料・授業料等の納入金額

- (1) 入学料 282,000円(予定)
- (2) 授業料 前期分 267,900円(予定) 又は前・後期分 535,800円(予定)

(注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

9. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、240円切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「修士課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は、口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail : kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

筆記試験試験場位置図



地下鉄箱崎九大前駅より徒歩10分
 地下鉄貝塚駅より徒歩10分
 九大北門バス停より徒歩3分

教員一覧及び主な研究事項

(平成22年5月現在)

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
人 文 基 礎	哲学・倫理学	哲学	円谷 裕二 教授	近現代哲学 存在論, 認識論, 実践哲学 (倫理, 法哲学, 政治哲学), 美学・芸術論等についての体系的かつ歴史的な研究。 著書 『近代哲学の射程 有限と無限のあいだ』(放送大学教育振興会, 2003) 『経験と存在 カントの超越論的哲学の帰趨』(東京大学出版会, 2002) ほか 論文 「知覚の存在論 メルロ＝ポンティの『見えるものと見えないもの』に即して」(『現象学年報』, 2006)
			菊地 惠善 教授	近現代哲学 特に, ヘーゲルを中心としたドイツ観念論の研究, ハイデガーを中心とした現象学的存在論の研究, そして, 生命倫理や環境倫理などの現代倫理学の研究。 論文 「存在論的差異について」(『理想』第680号, 2008) 「仮定か事実か ニーチェの永遠回帰思想について」(『西日本哲学年報』第15号, 2007) 「道徳の根拠をめぐる問い カントとヘーゲルの対立を超えて」(『講座ドイツ近・現代哲学』, 理想社, 2004)
			岩田 圭一 准教授	古代哲学 アリストテレスの形而上学, 自然学, 倫理学を主な研究対象としている。また, 古典期の哲学がヘレニズム期以降どのように受容され変容されたのかという問題にも関心がある。 論文 「実体と形相 アリストテレスの実体論における離在可能性の問題」(『西日本哲学年報』第17号, 2009) 「アリストテレス『形而上学』Z巻第十三章における『普遍』の問題」(『哲学年報』第68輯, 2009) 「現実態としての魂」(『立正大学文学部研究紀要』2008)
		倫理学	細川 亮一 教授	西洋近・現代倫理学 西洋近・現代倫理学の研究。さらにドイツ観念論, 現象学, 存在論の研究。 著書 『意味・真理・場所 ハイデガーの思惟の道』(創文社, 1992) 『ハイデガー哲学の射程』(創文社, 2000) 『ハイデガー入門』(筑摩書房, 2001) 『形而上学者 ウィトゲンシュタイン』(筑摩書房, 2000) 『ヘーゲル現象学の理念』(創文社, 2002) 『アインシュタイン 物理学と形而上学』(創文社, 2004) 『純化の思想家ルソー』(九州大学出版会, 2007)
			宮島 磨 准教授	日本倫理思想史 仏教を中心とする中世日本倫理思想, および近代日本倫理思想史の研究。 論文 「『観経疏』(『散善義』)における『抑止門』釈をめぐって」(『哲学論文集』2003) 「『三宝絵』における『仏宝』巻の位置」(『哲学年報』, 2005) 「親鸞における『真』と『偽』」(『哲学年報』, 2006) など 翻訳 「ワング『仏教』」(青土社 改訳新版 2004)
			吉原 雅子 講師	現代倫理思想 道徳にかかわる命題の言語の観点からの研究。特に, 規範命題と事実命題についての研究, 決定論と責任の両立性をめぐる問題の研究。 論文 「信念文が不透明である理由」(『科学基礎論研究』第94号, 2000) 「Is から Ought は導けるか」(『お茶の水女子大学人間文化研究年報』第25号, 2002) 「道徳法則の妥当性と個別主義」(『哲学年報』第68輯, 2009) など

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項	
人 文 基 礎	東洋思想	インド哲学史	岡野 潔 教授	インド仏教文献学 特にサンスクリット語・パーリ語・チベット語で伝えられるインド部派仏教のコスモロジー文献、仏伝（仏陀の伝記文学）や説話文学が、研究の重点領域。ネパールの写本に基づく仏教文献の原典批判研究を行う。 著書 Sarvarakṣītas Mahāsaṃvartanīkathā. Ein Sanskrit-Kāvya über die Kosmologie der Sāṃmitāya-Schule des Hīnayāna-Buddhismus (Dissertation) 論文 「新発見のインド正量部の文献」 など	
			片岡 啓 准教授	古典インドの宗教・思想・文化 サンスクリット語で書かれた教学・理論書を研究対象とする。聖典解釈学を中心に、論理学・神学・仏教認識論。インド内外でのサンスクリット写本調査・写本に基づく哲学書の原典校訂、思想史研究に従事する。論書・文学・タントラの三分野をバランスよくカバーすべく、最近はシヴァ教・戯曲・詩論にまで関心を広げている。 著書 『古典インドの祭式行為論：Śābarabhāṣya & Tantravārttika ad 2. 1. 1-4 原典校訂・訳注研究』（山喜房佛書林，2004）	
		中国哲学史	柴田 篤 教授	中国近世思想史 朱子学・陽明学を中心とした儒学思想、及び明末清初天主教思想史を研究。 著書 『中村楊斎』（明德出版社『叢書・日本の思想家』，1983） 訳書 『天主実義』（利瑪竇著，平凡社『東洋文庫』，2004） 論文 「言と心 王陽明思想の一断面」，「明末天主教の靈魂観」 など	
			南澤 良彦 准教授	中国古代中世思想史 中国古代及び中世、主として漢代から南北朝時代にかけての思想の流れを、儒教を中心に研究。 論文 「『帝王世紀』の成立とその意義」，「張衡の宇宙論とその政治的側面」 など	
		芸術学	芸術学	後小路 雅弘 教授	アジア近現代美術史、美術館学 東南アジアを中心にアジアの近代美術史及び現代美術に関わる諸問題と、美術館をめぐる諸問題、大学とアートにかかわる問題を研究。 共著 『アジアの美術』（美術出版社，2002） 論文 「帝国大学のパブリックアート 青山熊治「九州大学工学部壁画」 『美術研究』 389号）など
				井手 誠之輔 教授	東洋美術史 宋元時代の仏画を中心に、東アジアの美術に関わる諸問題を研究。 著書 『日本の宋元仏画』（日本の美術418号，至文堂，2001） 共著 『世界美術大全集・東洋編5 北宋・遼・西夏』（小学館，1998）
	京谷 啓徳 准教授			西洋美術史 ルネサンス期イタリア美術に関わる諸問題を研究。 著書 『ボルソ・デステとスキファノイア壁画』（中央公論美術出版 2003） 共著 『ポッティチェリ全作品』（中央公論美術出版，2005）	
	東口 豊 准教授			近現代美学、音楽美学 現代ドイツ美学を中心に、音楽、自然などの諸問題について研究。 論文 「アドルノにおける否定弁証法とミメシスの問題」（『美学』1998） 「Th.W. アドルノにおける藝術作品の自然性」（『美学藝術学研究』2001）他	
	歴史空間論	日本史学	日本史学	坂上 康俊 教授	奈良・平安時代史 律令国家の成立・展開・変容の過程を制度的側面から研究。 著書 『律令国家の転換と「日本」』（講談社学術文庫，2009） 共編 『唐令拾遺補』（東京大学出版会，1997）
				佐伯 弘次 教授	日本中世史 中世九州の地域史及び東アジアとの交流史を研究。 著書 『日本の中世9 モンゴル襲来の衝撃』（中央公論新社，2004） 論文 「室町期の博多商人宗金と東アジア」（『史淵』136輯，1999） など

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
歴史空間論	日本史学	日本史学	岩崎 義則 准教授	日本近世史 近世の長崎と銅貿易及び平戸藩政史を研究。共編『県立長崎図書館郷土史料叢書 [一] ~ [五]』(2001~2005) 共著『近世の佐世保』(佐世保市, 2002) 論文「寛保 寛延期の貿易改革と銅統制策」(『住友史料館報』第34号, 2003)
			山口 輝臣 准教授	日本近代史 宗教などを視野に入れつつ, 政治史・思想史を研究。 著書『明治国家と宗教』(東京大学出版会, 1999) 『明治神宮の出現』(吉川弘文館, 2005) 共編『木戸孝允関係文書』(東京大学出版会, 2005~)
	アジア史	東洋史学	川本 芳昭 教授	東アジア古代・中世史 中国を中心とした東アジア古代・中世の政治史, 民族問題, 国際関係について研究。 著書『魏晋南北朝時代の民族問題』(汲古書院, 1998) 『中国史のなかの諸民族』(山川出版社, 2004) 『中華の崩壊と拡大』(講談社, 2005) など
			中島 楽章 准教授	中国近世史・東アジア海域史 宋元・明清時代の社会結合・文書史料・商業流通などを研究。14~18世紀の東アジア海域史における貿易・外交・人的交流についても研究を進めている。 著書『明代郷村の紛争と秩序』(汲古書院, 2002) 『徽州商人と明清中国』(山川出版社, 2009) 論文「16世紀末の九州 東南アジア貿易」(『史学雑誌』118編8号, 2009) など
			船田 善之師 講師	内陸アジア史, 東アジア史 10~15世紀, とくにモンゴル治下の多民族・多言語社会の諸相, かかる社会に対する統治制度を研究。当該時期の石刻・文書の現地調査と史料研究も平行して進めている。 共著『ハラホト出土モンゴル文書の研究』(雄山閣, 2008) 論文「元代の命令文書の開読について」(『東洋史研究』63-4, 2005) 「蒙文直訳体の展開」(『内陸アジア史研究』22, 2007) など
		朝鮮史学	濱田 耕策 教授	朝鮮古代史及び日朝文化交流史 朝鮮古代の歴史を東アジア世界との関連において研究。現在は, 特に新羅, 高句麗, 百濟, 渤海の諸制度を内政, 制度, 対外関係, 文化の面において比較研究している。また, 梵鐘と書籍の日朝交流史を調査中。 著書『渤海国興亡史』(吉川弘文館, 2000) 『新羅国史の研究』(吉川弘文館, 2002) など
			森平 雅彦 准教授	朝鮮中世・近世史, 東アジア交渉史 朝鮮中世・近世の国際関係(政治・外交, 文化交流, 陸海の交通など)及び社会文化(文字文化, 生活知など)を研究。また水環境と人の暮らしをテーマに現地を歩いている。 著書『朝鮮の歴史』(共著, 昭和堂, 2008), 論文「牒と咨のあいだ 高麗王と元中書省の往復文書」(『史淵』144), 「高麗における宋使船の寄港地「馬島」の位置をめぐって」(『朝鮮学報』207) など
			考古学	宮本 一夫 教授
		辻田 淳一郎 准教授		日本考古学 日本列島の古代国家形成過程について比較考古学的観点から研究。 著書『鏡と初期ヤマト政権』(すいれん舎, 2007) 論文「威信財システムの成立・変容とアイデンティティ」(『東アジア古代国家論』すいれん舎, 2006) など

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項	
歴史 空間 論	広域文明 史学	西洋史学	神 實 秀 夫 教授	西洋近世史 ドイツ中世(後期)・近世の君主権 中間権力 平民間の統治体制史を論究。 著書 『近世ドイツ絶対主義の構造』(創文社, 1994) 『中・近世ドイツ都市の統治構造と変質』(創文社, 2010), など 論文 “ Zur verfassungsgeschichtlichen Bedeutung des Landesdefensio nswesens ” (ZHF 19 - 3, 1992), など	
			山 内 昭 人 教授	西洋現代史及びインタナショナル(国際社会主義)史 戦争と平和, そして革命の時代としての20世紀前半を, 国際社会主義・労 働運動を梃子に政治史, 思想史及び社会史的方法で研究。 著書 『リュートヘルスとインタナショナル史研究』(ミネルヴァ書房, 1996) 『初期コミンテルンと在外日本人社会主義者』(ミネルヴァ書房, 2009)	
			岡 崎 敦 准教授	フランス中世史 北フランスを対象とする教会制度史。西欧中世史科学。 論文 『西欧中世における記憶の管理とアーカイヴズ』(『史淵』146輯, 2009) 『西洋中世史料論と日本学界』(『西洋史学』223号, 2006) など	
		イスラム 文明史学	清 水 宏 祐 教授	イラン史 セルジューク朝時代史研究。 共著 『西アジア史・』(山川出版社, 2002) 著書 『イスラーム農書の世界』(山川出版社, 2007)	
			清 水 和 裕 准教授	アラブ史・初期イスラム史 アッパース朝を対象として政治史, 軍事・行財政制度, そして社会におけ る民衆の運動などを研究。 著書 『軍事奴隷・官僚・民衆: アッパース朝解体期のイラク社会』(山川 出版社, 2005)	
		地理学	地理学	高 木 彰 彦 教授	人文地理学(特に政治地理学) 選挙制度や地方行政制度に関する地理学的視点からの研究, 地政学研究, 地理思想と地理認識に関する研究。 著書 『空間の政治地理』(朝倉書店, 2005, 共著) など
	遠 城 明 雄 教授			人文地理学, 都市研究 近現代の都市形成と都市社会の変容および都市・農村関係に関する研究, 空間・場所論の学説史の研究。 共著 『人文地理学』(ミネルヴァ書房, 2009) 『近代日本の企業家と政治』(吉川弘文館, 2009) 『都市空間の地理学』(ミネルヴァ書房, 2006) など 共訳著 『パリ モダニティの首都』(青土社, 2006) など	
	言語 ・ 文学	日本・ 東洋文学	国語学・ 国文学	高 山 倫 明 教授	日本語史 万葉仮名文献や中国資料を中心とした日本語音韻史・表記史の研究。 論文 「字音声調と日本語のアクセント」(2003) 「四つ仮名と前鼻音」(2006) 「音節構造と字余り論」(2006) など
				辛 島 正 雄 教授	日本中古・中世文学 作り物語の歴史の変遷を中心に研究。 著書 『中世王朝物語史論』(笠間書院, 2001) 中世王朝物語全集 『小夜衣』(笠間書院, 1997) 共著 新日本古典文学大系 『とりかへばや物語』(岩波書店, 1992) など
				青 木 博 史 准教授	日本語史 中世を中心とした日本語文法史の研究。 編著 『日本語の構造変化と文法化』(ひつじ書房, 2007) 論文 「補助動詞「～オル」の展開」(2008) 「動詞重複構文の歴史」(2009) など
川 平 敏 文 准教授				日本近世文学 江戸学芸史, 特に徒然草注釈史の研究。 著書 『近世兼好伝集成』(平凡社, 2003) 『兼好法師の虚像』(平凡社, 2006) 論文 「俳諧寓言説の再検討」(2007), など	

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
言	日本・東洋文学	中国文学	竹村 則行 教授	中国古典文学 主に清朝文学史、洪昇『長生殿』を研究。最近のテーマ：楊貴妃、中国文学史、孔子像と孔子画伝。 共著 『長生殿箋注』(中州古籍出版社、1999) 著書 『驚鴻記校注』(中国書店、2007) 『楊貴妃文学史研究』(研文出版、2003) 『説倭伝』(花書院、2000)
			静永 健 准教授	中国古典文学 主に漢魏六朝より唐宋に至る詩文の研究。近年は白居易を中心とする唐代文学及びその日本文学への影響を研究。 著書 『漢籍伝来 白楽天の詩歌と日本』(勉誠出版、2010) 『白居易「諷諭詩」の研究』(勉誠出版、2000) 編著(主編) 『から船往来 日本を育てた ひと・ふね・まち・こころ』(中国書店、2009) 『漢籍と日本人』 (勉誠出版・アジア遊学 93・116, 2006・2008) など
			戚世 隼 招聘外国人教師	中国古典文学、中国語学 中国古代戯曲研究。特に中国明代戯曲を研究。 著書 『明代雑劇研究』(広東高等教育出版社、2000) 共著 『明清文学史』(中山大学出版社、1999) など
語	西洋文学	英語学・英文学	村井 和彦 教授	イギリス文学 イギリス・ルネッサンス演劇とくにシェイクスピアの作品をケース・スタディとする人間の行為と言語の関係の究明。 共著 『エリザベス朝の復讐悲劇』(英宝社、1997) 論文 「『コリオレイナス』における帽子の政治性」(<i>Shakespeare News</i> , vol. 44, no.3, 2005)
			西岡 宣明 教授	英語学 部分否定、文否定、否定対極表現などの日・英比較を含む否定現象の研究、省略、代名詞による指示の問題などの照応現象の研究。 著書 『英語否定文の統語論研究 素性照合と介在効果』(くろしお出版、2007) 論文 “Quantifiers and Negation: A Minimalist Approach to Partial Negation,” (<i>English Linguistics</i> vol.21, 2, 日本英語学会, 2004)
			鷓飼 信光 准教授	イギリス文学 エミリー・ブロンテ、オースティン、ディケンズ、ハーディ、ワイルドなどの十九世紀の小説家の研究、ウルフ、E. M. フォースターなどの二十世紀の小説家の研究、イギリス小説における自己の表現の研究。 共著 『英文学と道徳』(園井英秀編、九州大学出版会、2005) 論文 “Nature’s Rule over Self in Thomas Hardy’s <i>Tess of the d’Urbervilles</i> ” (『文学研究』第105号、九州大学大学院人文科学研究院、2008)
			高野 泰志 准教授	アメリカ文学 アーネスト・ヘミングウェイをはじめとするアメリカ小説、および医学と身体論、セクシャリティ研究など。 共著 『アーネスト・ヘミングウェイの文学』(ミネルヴァ書房、2006) 著書 『引き裂かれた身体 ゆらぎの中のヘミングウェイ文学』(松籟社、2008) 論文 「素脚を見せるブレット・アシュリー 矛盾する欲望と『日はまた昇る』」(『ヘミングウェイ研究』第9号、日本ヘミングウェイ協会、2008)
			スティーブン・レイカー 招聘外国人教師	英語学、特に史的音韻論 英語の歴史的音変化研究、方言研究、比較言語学。 論文 “An Explanation for the Early Phonemicisation of a Voice Contrast in English Fricatives,” <i>English Language and Linguistics</i> 13 (2), 213 - 226, 2009. “Changing Views about Anglo-Saxons and Britons,” In Henk Aertsen & Bart Veldhoen (eds.), <i>Six papers from the 28th Symposium on Medieval Studies held at the Vrije Universiteit Amsterdam on 15 December 2006</i> . Leiden: University Department of English, 1-38, 2008. “The English negative comparative particle,” <i>Transactions of the Philological Society</i> 106(1), 1 - 28, 2008.

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
言語学	西洋文学	英語学・英文学	タラス・A・サック 招聘外国人教師	アメリカ文学 メルヴィル, フィッツジェラルド, ピンチオン, デリロ等, 19世紀および20世紀のアメリカ文学。 論文 “ ‘Is That You, John Wayne?’ Clarity, Resolution and Narrative in Caputo’s <i>A Rumor of War</i> ” (<i>Philologia</i> , No.39, 2008) “ Death is a Master from Germany ’: Paranoia and Desire in DeLillo’s <i>White Noise</i> ” (<i>Philologia</i> , No.38, 2007). “ Shall I project a world? Immanence and Affect in <i>The Crying of Lot 49</i> ” (<i>Studies in American Literature</i> , American Literature Society, Chugoku-Shikoku Chapter, No.43, 2007)
		独文学	小黒康正 教授	ドイツ近現代文学 ドイツ文学における黙示録, トーマス・マン, パッハマン, 「水の精の物語」などの研究。 著書 『黙示録を夢みる時 トーマス・マンとアレゴリー』 (鳥影社, 2001) 論文 「トポス「水の精の物語」の身体論的考察 ホメロスからゲーテまで」 (2003)
			バルバラ・ヨハナ・クレマ 招聘外国人教師	ドイツ語教授法 言語習得理論の研究。ヨーロッパと日本における言語政策の比較研究。 論文 Barbara Klema u. Satoshi Hashimoto: Englisch ist wichtig, Chinesisch ist nützlich in Zukunft, Deutsch ist schwierig. Argumente für den L3-Unterricht an japanischen Hochschulen. In: Zeitschrift für interkulturellen Fremdsprachenunterricht. Bd.12-1 (2007); Barbara Klema: Und sie vergleichen doch. Eine Befragung unter japanischen Deutschlernenden zu Englisch als 1. Fremdsprache. In: Info DaF. 2006-4.
		仏文学	吉井亮雄 教授	フランス近現代文学 19世紀末から20世紀前半のフランス文学を対象として実証的・文学史的な観点から研究。とりわけ自筆稿類の調査・分析にもとづくアンドレ・ジッド作品の研究。 著書 『ジッド「放蕩息子の帰宅」校訂版』 (九州大学出版会, 1992) 翻訳 クロード・マルタン 『アンドレ・ジッド』 (九州大学出版会, 2003)
			高木信宏 准教授	フランス近代文学 19世紀のロマン主義文学, 特にスタンダールの小説作品を対象とする実証的・文学史的な研究。 著書 『スタンダール 小説の創造』 (慶應義塾大学出版会, 2008) 論文 “ De la source au texte. Un aspect de la création dans <i>Le Rouge et le Noir</i> ” (<i>HB. Revue internationale d’études stendhaliennes</i> , n° 9 - 10, 2005 - 2006)
			エルベ=ピエール・ランベール 招聘外国人教師	フランス現代文学・比較文学 オクタヴィオ・パスの作品を中心にメキシコ文学や現代フランス文学を対象とする比較文学的研究。 博士論文 <i>Octavio Paz et l’Orient</i> , (Presses de l’ENS, Lettres et Sciences Humaines, 2009 - 2010) 論文 “L’hypermnésie dans la littérature”, (<i>TLE</i> , Université Paris VIII, printemps 2009)
	言語学	言語学	稲田俊明 教授	生成文法理論及び英語統語論 言語理論の諸問題, 言語習得と動的な文法理論, 補文構造の研究。 著書 『補文の構造』 (大修館, 1989), 共著 『生成文法』 (岩波書店, 1998), 論文 「間接疑問文の選択と補文構造」 (『言語研究の潮流』 開拓社, 1999)
			坂本勉 教授	心理言語学 言語学の理論をベースに, 実験的手法を用いて日本語の「文理解」を研究。 著書 <i>Processing Empty Subjects in Japanese: Implications for the Transparency Hypothesis</i> . (Kyushu University Press, 1996) 編著 <i>Communicating Skills of Intention</i> . (Hituzi Shobo Publishing, 2007) 共著 『言語学の方法 現代言語学入門 第1巻』 (岩波書店, 1999) 論文 「構文解析における透明性の仮説」 (『認知科学』, 1995)

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
言語 ・ 文学	言語学	言語学	久保智之教授	音韻論・形態論 満洲語，モンゴル語，日本語などの東北／東アジア諸言語を対象とした音韻論，形態論，音韻論と統語論の境界領域。 論文 「のさことば」とアクセント (『筑紫国語学論叢』 風間書房，2001)， “Reduplication Meduplication in Khalkha Mongolian” (『言語研究』 112号，1997)
			上山あゆみ准教授	生成文法および日本語統語論 経験科学としての文法研究を進めるための方法論。日本語の様々な構文の統語構造。照応関係をつかさどる文法の仕組みについて。 著書 『はじめての人の言語学』 (くろしお出版，1991) 『生成文法の考え方』 (研究社，2004) 『論文を書くための Word 利用法』 (くろしお出版，2009) 論文 「日本語から見える「文法」の姿」 (『日本語学』 4月臨時増刊号，2000)

平成22年度九州大学大学院人文科学府 博士後期課程10月編入学学生募集要項

大学院人文科学府博士後期課程では平成22年度より10月入学の制度を導入しており、下記により募集する。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史	地理学	地理学	
		中国哲学史		国語学・国文学	
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	中国文学		
歴史空間論	日本史学	日本史学	言語・文学	西洋文学	英語学・英文学
	アジア史学	東洋史学			独文学
		朝鮮史学	仏文学		
		考古学	言語学		
募 集 人 員 若 干 名					

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く

2. 出願資格

- (1) 修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者又は平成22年9月修了見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成22年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年9月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成22年9月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成22年9月30日までに24歳に達する者
- (7) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(出願に関する注意事項)

【注1】有職者の場合は、願書提出前に九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係にその旨申し出ること。

【注2】(6)、(7)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記書類を、平成22年7月15日(木)までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する。日時については別途連絡する。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書・履歴書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 出身大学(学部)長作成のもの
- ・大学の卒業証明書 卒業証明書又は、学士の学位証明書
- ・研究歴証明書 所属機関の長の証明書(様式は自由)
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等、A4判 4,000字以内
- ・研究計画書 A4判の用紙に、2,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間

平成22年7月30日(金)から平成22年8月6日(金)17時まで。

郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1）宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書、受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
- (2) 出身大学（大学院研究科）長の成績証明書
- (3) 大学院修士課程修了（見込）証明書
- (4) 修士の学位論文又はその写し。ただし、修士課程修了者は、新たに作成した論文を提出することができる。
- (5) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）
- (6) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
- (7) 住所票（本要項綴込の用紙 志望専攻、住所、氏名を記入したもの）

備考 (4)に示す論文については、他の出願書類とは別便で送付してもよいが、願書受付期間内に必着のこと。

5. 入学者選抜方法

- (1) 筆記試験及び口頭試問

専修	筆記試験		口頭試問
	外国語科目	専修科目	
哲学	英語、独語、仏語、 中国語、朝鮮語の うちから1選択 (注)	哲学	提出された論文及び 専修科目等について
倫理学		倫理学	
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験（サンスクリット、古典チベット語のうちから1選択）を課すことがある	
中国哲学史		中国哲学史（漢文読解を含む）	
芸術学		芸術学	
日本史学		日本史学	
東洋史学		東洋史学	
朝鮮史学		朝鮮史学	
考古学		考古学	
西洋史学		西洋史学	
イスラム文明史学		イスラム文明史学に加えて関連する語学の試験（アラビア語、ペルシア語、トルコ語のうちから1選択）を課すことがある	
地理学		地理学	
国語学・国文学		国語学・国文学	
中国文学		中国文学	
英語学・英文学		英語学・英文学	
独文学		独文学	
仏文学		仏文学	
言語学	言語学		

(注) 「英語学・英文学」は英語を、「独文学」は独語を、「仏文学」は仏語を、「中国文学」は中国語を選ぶことはできない。

- (2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

試験	日時	試験科目	試験場
平成22年9月7日(火)	9:30~11:00	外国語科目	九州大学 国際ホール
	13:30~16:30	専修科目	
平成22年9月8日(水)	別途指示する。	口頭試問	別途指示する。

(注) 試験場 28頁の位置図を参照

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- 平成22年9月17日(金)
午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示すると共に、郵送により本人に通知する。
- 入学手続書類は、合格発表以降別途送付する。

8. 入学時期 平成22年10月1日

9. 入学料・授業料等の納入金額

授業料は、入学後に、入学の際に提出した銀行口座から、口座振替により納付することになる。口座振替日は、後期分は10月下旬、前期分は4月下旬(授業料免除申請者を除く。)の大学が指定する日となっている。

なお、授業料免除制度や各種奨学金制度の申請については、入学手続書類で案内する。

初年次納入金(第1学年)

単位(日本円)

納入期	入学料	授業料	合計
入学時	282,000 円	—	282,000 円
平成22年度後期分	—	267,900 円	267,900 円
平成23年度前期分(予定)	—	267,900 円	267,900 円
計	282,000 円	535,800 円	817,800 円

(参考)

次年次(第2学年)以降納入金

学年	授業料		合計
	当該年度後期分	当該年度前期分	
第2学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円
第3学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円

平成23年度以降金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

10. その他

- 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail: kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ] <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>

平成22年度九州大学大学院人文科学府 博士後期課程10月編入学学生募集要項

(社会人博士養成コース)

大学院人文科学府博士後期課程（社会人博士養成コース）では平成22年度より10月入学の制度を導入しており、下記により募集する。

このコースは、研究・教育職に就いた者で、現在活発な研究・教育活動を続けている者に、博士号の取得の道を開くために設けられた。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			
芸術学	芸術学	言語・文学	日本・東洋文学	国語学・国文学	
歴史空間論	日本史学			日本史学	西洋文学
	アジア史学		東洋史学	英語学・英文学	
			朝鮮史学	独文学	
考古学		仏文学			
			言語学	言語学	
募 集 人 員 若 干 名					

このコースに出願しようとする者は、表に示す専攻・分野・専修を考慮の上、希望する指導教員（予定）と、内容等について事前に相談すること。

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格

大学等の研究・教育機関に在職（見込）の者で、研究・教育等の職に従事している者

- (1) 修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
（大学を卒業し、又は2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められた者）
- (6) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成22年9月30日までに24歳に達する者
- (7) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(出願に関する注意事項)

【注1】出願資格について不明な点があれば九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係に照会すること。

【注2】(6)、(7)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記の書類を、平成22年7月15日（木）までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する。日時については、別途連絡する。

- ・ 事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・ 入学願書・履歴書 (本学府所定の用紙)
- ・ 成績証明書 出身大学（学部）長作成のもの
- ・ 大学の卒業証明書 卒業証明書又は、学士の学位証明書
- ・ 研究歴証明書 所属機関の長の証明書（様式は自由）

- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等，A4判 4,000字以内
- ・研究計画書 A4判の用紙に，2,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間

平成22年7月30日（金）から平成22年8月6日（金）17時まで。 郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1）宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書，受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm，3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
 - (2) 在職証明書（在職期間を明示）及び所属長の出願同意書，又は雇用予定書等
 - (3) 出身大学（大学院研究科）長の成績証明書
 - (4) 大学院修士課程修了証明書
 - (5) 修士の学位論文又はその写し。ただし，修士課程修了者は新たに作成した論文を提出することができる。
 - (6) 研究計画書
 - (7) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）
 - (8) 受験票送付のため，本要項綴込の封筒を使用し，宛名及び郵便番号を明記の上，350円切手を貼付のこと。
 - (9) 住所票（本要項綴込の用紙（シール）に志願者の専攻，住所，氏名を記入すること）
- 備考 (5)に示す論文については，他の出願書類とは別便で送付してもよいが，願書受付期間内に必着のこと。

5. 入学者選抜方法

- (1) 口頭試問 専修科目と提出された論文に関わる口頭試問
- (2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

試験日	試験科目	時間	試験場
平成22年9月8日（水）	口頭試問	別途指示する。	

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 平成22年9月17日（金）
午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示すると共に，郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は，合格発表以降別途送付する。

8. 入学時期 平成22年10月1日

9. 入学料・授業料等の納入金額

授業料は、入学後に、入学の際に提出した銀行口座から、口座振替により納付することになる。口座振替日は、後期分は10月下旬、前期分は4月下旬（授業料免除申請者を除く。）の大学が指定する日となっている。

なお、授業料免除制度や各種奨学金制度の申請については、入学書類で案内する。

初年次納入金（第1学年）

単位（日本円）

納入期	入学料	授業料	合計
入学時	282,000 円	—	282,000 円
平成22年度後期分	—	267,900 円	267,900 円
平成23年度前期分(予定)	—	267,900 円	267,900 円
計	282,000 円	535,800 円	817,800 円

(参考)

次年次（第2学年）以降納入金

学 年	授業料		合 計
	当該年度後期分	当該年度前期分	
第2学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円
第3学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円

平成23年度以降金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

10. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒（角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付）を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail : kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

平成22年度九州大学大学院人文科学府 博士後期課程10月編入学学生募集要項

(外国人留学生入試)

大学院人文科学府博士後期課程（外国人留学生入試）では、平成22年度より10月入学の制度を導入しており、下記により募集する。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史	地理学	地理学	
		中国哲学史			
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	国語学・国文学		
歴史空間論	日本史学		日本史学	中国文学	
	アジア史学	東洋史学	西洋文学	英語学・英文学	
		朝鮮史学		独文学	
		考古学	仏文学		
			言語学	言語学	
募 集 人 員 若 干 名					

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格

外国人留学生として入学を志願できる者は、留学の目的をもって日本に入国した外国人又は入国しようとする外国人で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成22年9月までに授与される見込みの者
- (2) 日本の大学の修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者又は平成22年9月修了見込の者
- (3) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

3. 願書受付期間

平成22年7月30日（金）から平成22年8月6日（金）17時まで。

郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1）宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書（小学校入学以後の学歴、職歴等を明細に記入すること）、受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
- (2) 最終出身学校の成績証明書
- (3) 修了（見込）証明書及び推薦書
- (4) 日本語の能力についての証明書
- (5) 専修科目についての論文
日本史学と国語学・国文学を志望する者の提出する論文は日本語のものに限る。
- (6) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
- (7) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）
- (8) 住所票（本要項綴込の用紙 - 志望専攻、住所、氏名を記入したもの）

5. 入学者選抜方法

(1) 筆記試験及び口頭試問

専 修	筆 記 試 験			口 頭 試 問
	外国語科目	専 修 科 目	日 本 語	
哲 学		哲学	全専修に課す	提出された論文及び専修科目等について
倫 理 学		倫理学		
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験(サンスクリット, 古典チベット語のうちから1選択)を課すことがある		
中国哲学史		中国哲学史(漢文読解を含む)		
芸 術 学		芸術学		
日 本 史 学		日本史学		
東 洋 史 学		東洋史学		
朝 鮮 史 学		朝鮮史学		
考 古 学		考古学		
西 洋 史 学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語のうちから1選択	西洋史学		
イスラム文明史学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語のうちから1選択	イスラム文明史学に加えて関連する語学の試験(アラビア語, ペルシア語, トルコ語のうちから1選択)を課すことがある		
地 理 学		地理学		
国語学・国文学		国語学・国文学		
中 国 文 学		中国文学		
英語学・英文学		英語学・英文学		
独 文 学		独文学		
仏 文 学		仏文学		
言 語 学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語のうちから1選択	言語学		

(注) 上記外国語科目中, 母国語を選ぶことはできない。

(2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

試 験 日 時	試験科目	試 験 場
平成22年9月7日(火)	9:30 ~ 11:00	九州大学 国際ホール
	13:30 ~ 16:30	
	17:00 ~ 18:00	
平成22年9月8日(水)	別途指示する。	別途指示する。

(注) 試験場 28頁の位置図を参照

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 平成22年9月17日(金)
午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示すると共に、郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は、合格発表以降別途送付する。

8. 入学時期 平成22年10月1日

9. 入学料・授業料等の納入金額

授業料は、入学後に、入学の際に提出した銀行口座から、口座振替により納付することになる。口座振替日は、後期分は10月下旬、前期分は4月下旬(授業料免除申請者を除く。)の大学が指定する日となっている。

なお、授業料免除制度や各種奨学金制度の申請については、入学手続書類で案内する。

初年次納入金(第1学年)

単位(日本円)			
納入期	入学料	授業料	合計
入学時	282,000 円	—	282,000 円
平成22年度後期分	—	267,900 円	267,900 円
平成23年度前期分(予定)	—	267,900 円	267,900 円
計	282,000 円	535,800 円	817,800 円

(参考)

次年次(第2学年)以降納入金

学 年	授業料		合 計
	当該年度後期分	当該年度前期分	
第2学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円
第3学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円

平成23年度以降金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

10. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356(貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail: kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

平成23年度九州大学大学院人文科学府博士後期課程 4月編入学学生募集要項

大学院人文科学府博士後期課程の編入学学生を第1期（修士課程修了者のみ）と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			日本・東洋文学
芸術学	芸術学	言語・文学	西洋文学	中国文学	
歴史空間論	日本史学			日本史学	英語学・英文学
	アジア史学		東洋史学	東洋史学	独文学
			朝鮮史学	朝鮮史学	仏文学
考古学		考古学	言語学		
募 集 人 員 若 干 名					

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く

2. 出願資格（第1期の出願は修士課程修了者のみとする。）

- (1) 修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者又は平成23年3月修了見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月31日までに24歳に達する者
- (7) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(出願に関する注意事項)

【注1】有職者の場合は、願書提出前に九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係にその旨申し出ること。

【注2】(6)、(7)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記書類を、第1期については平成22年7月15日(木)、第2期については平成22年11月25日(木)までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する。日時については別途連絡する。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書・履歴書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 出身大学(学部)長作成のもの
- ・大学の卒業証明書 卒業証明書又は、学士の学位証明書
- ・研究歴証明書 所属機関の長の証明書(様式は自由)
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等、A4判 4,000字以内
- ・研究計画書 A4判の用紙に、2,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間

第1期 平成22年7月30日(金)から8月6日(金)17時まで。

第2期 平成22年12月10日(金)から平成23年1月11日(火)17時まで。

} 郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1）宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書、受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
- (2) 出身大学（大学院研究科）長の成績証明書
- (3) 大学院修士課程修了（見込）証明書
- (4) 修士の学位論文又はその写し。ただし、修士課程修了者は、新たに作成した論文を提出することができる。
- (5) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）
- (6) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
- (7) 住所票（本要項綴込の用紙 志望専攻、住所、氏名を記入したもの）

備考 (4)に示す論文については、他の出願書類とは別便で送付してもよいが、願書受付期間内に必着のこと。

5. 入学者選抜方法

- (1) 筆記試験及び口頭試問

専修	筆記試験		口頭試問
	外国語科目	専修科目	
哲学		哲学	提出された論文及び専修科目等について
倫理学		倫理学	
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験（サンスクリット、古典チベット語のうちから1選択）を課すことがある	
中国哲学史		中国哲学史（漢文読解を含む）	
芸術学		芸術学	
日本史学		日本史学	
東洋史学		東洋史学	
朝鮮史学	英語、独語、仏語、	朝鮮史学	
考古学	中国語、朝鮮語の	考古学	
西洋史学	うちから1選択	西洋史学	
イスラム文明史学	(注)	イスラム文明史学に加えて関連する語学の試験（アラビア語、ペルシア語、トルコ語のうちから1選択）を課すことがある	
地理学		地理学	
国語学・国文学		国語学・国文学	
中国文学		中国文学	
英語学・英文学		英語学・英文学	
独文学		独文学	
仏文学		仏文学	
言語学		言語学	

(注) 「英語学・英文学」は英語を、「独文学」は独語を、「仏文学」は仏語を、「中国文学」は中国語を選ぶことはできない。

- (2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試験日時	試験科目	試験場
平成22年9月7日(火)	9:30 ~ 11:00	外国語科目
	13:30 ~ 16:30	専修科目
平成22年9月8日(水)	別途指示する。	別途指示する。

第2期試験

試 験 日 時	試験科目	試験場
平成23年2月3日(木)	9:30~11:00	九州大学 国際ホール
	13:30~16:30	
平成23年2月4日(金)	別途指示する。	口頭試問 別途指示する。

(注) 試験場 28頁の位置図を参照

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 第1期 平成22年9月17日(金) } いずれも、午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示する
第2期 平成23年2月10日(木) } と共に、郵送により本人に通知する。

- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも平成23年2月下旬に送付する。

8. 入学料・授業料等の納入金額

- (1) 入学料 282,000円(予定)
(2) 授業料 前期分 267,900円(予定)又は前・後期分 535,800円(予定)

(注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

9. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
(2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
(3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
(4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail: kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

平成23年度九州大学大学院人文科学府 博士後期課程4月編入学学生募集要項

(社会人博士養成コース)

大学院人文科学府博士後期課程(社会人博士養成コース)の学生を第1期と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

このコースは、研究・教育職に就いた者で、現在活発な研究・教育活動を続けている者に、博士号の取得の道を開くために設けられる。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			
芸術学	芸術学	言語・文学	日本・東洋文学	国語学・国文学	
歴史空間論	日本史学			日本史学	中国文学
	アジア史学		東洋史学	西洋文学	英語学・英文学
			朝鮮史学		独文学
考古学		仏文学			
			言語学	言語学	
募 集 人 員 若 干 名					

このコースに出願しようとする者は、表に示す専攻・分野・専修を考慮の上、希望する指導教員(予定)と、内容等について事前に相談すること。

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格

大学等の研究・教育機関に在職(見込)の者で、研究・教育等の職に従事している者

- (1) 修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者(平成元年9月1日文部省告示第118号)
(大学を卒業し、又は2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められた者)
- (6) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年3月31日までに24歳に達する者
- (7) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(出願に関する注意事項)

【注1】出願資格について不明な点があれば九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係に照会すること。

【注2】(6)、(7)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記の書類を、第1期については平成22年7月15日(木)、第2期については平成22年11月25日(木)までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する。日時については、別途連絡する。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書・履歴書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 出身大学(学部)長作成のもの
- ・大学の卒業証明書 卒業証明書又は、学士の学位証明書

- ・研究歴証明書 所属機関の長の証明書（様式は自由）
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等，A4判 4,000字以内
- ・研究計画書 A4判の用紙に，2,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間

- 第1期 平成22年7月30日（金）から8月6日（金）17時まで。
 第2期 平成22年12月10日（金）から平成23年1月11日（火）17時まで。 } 郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1）宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書，受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm，3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
 - (2) 在職証明書（在職期間を明示）及び所属長の出願同意書，又は雇用予定書等
 - (3) 出身大学（大学院研究科）長の成績証明書
 - (4) 大学院修士課程修了証明書
 - (5) 修士の学位論文又はその写し。ただし，修士課程修了者は新たに作成した論文を提出することができる。
 - (6) 研究計画書
 - (7) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）
 - (8) 受験票送付のため，本要項綴込の封筒を使用し，宛名及び郵便番号を明記の上，350円切手を貼付のこと。
 - (9) 住所票（本要項綴込の用紙（シール）に志願者の専攻，住所，氏名を記入すること）
- 備考 (5)に示す論文については，他の出願書類とは別便で送付してもよいが，願書受付期間内に必着のこと。

5. 入学者選抜方法

- (1) 口頭試問 専修科目と提出された論文に関わる口頭試問
- (2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

	試験日	試験科目	時間	試験場
第1期	平成22年9月8日（水）	口頭試問	別途指示する。	
第2期	平成23年2月4日（金）	〃	〃	

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 第1期 平成22年9月17日（金） } いずれも，午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示す
 第2期 平成23年2月10日（木） } ると共に，郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は，第1期・第2期とも平成23年2月下旬に送付する。

8. 入学料・授業料等の納入金額

- (1) 入学料 282,000円（予定）
- (2) 授業料 前期分 267,900円（予定）又は前・後期分 535,800円（予定）

（注）上記の納付金額は予定額であり，入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金額が適用される。

9. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒（角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付）を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail : kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

平成23年度九州大学大学院人文科学府博士後期課程4月編入学(外国人留学生入試) 学生募集要項

大学院人文科学府博士後期課程(外国人留学生入試)の編入学生を第1期(修士課程修了者のみ)と第2期とにわけて2度募集する。なお、入学志願者は第1期と第2期のいずれか、又は両方を受験することができる。

1. 専攻, 分野, 専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			国語学・国文学
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	中国文学		
歴史空間論	日本史学		日本史学	西洋文学	英語学・英文学
	アジア史学	東洋史学	独文学		
		朝鮮史学	仏文学		
		考古学	言語学		
			言語学	言語学	

募 集 人 員 若 干 名

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格(第1期の出願は修士課程修了者のみとする。)

外国人留学生として入学を志願できる者は、留学の目的をもって日本に入国した外国人又は入国しようとする外国人で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成23年3月までに授与される見込みの者
- (2) 日本の大学の修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者又は平成23年3月修了見込の者
- (3) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

3. 願書受付期間

第1期 平成22年7月30日(金)から8月6日(金)17時まで。

第2期 平成22年12月10日(金)から平成23年1月11日(火)17時まで。

} 郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係(〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1)宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書(小学校入学以後の学歴、職歴等を明細に記入すること)、受験票(いずれも本要項綴込の用紙)及び写真3葉(縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること)
- (2) 最終出身学校の成績証明書
- (3) 修了(見込)証明書及び推薦書
- (4) 日本語の能力についての証明書
- (5) 専修科目についての論文
日本史学と国語学・国文学を志望する者の提出する論文は日本語のものに限る。
- (6) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
- (7) 検定料30,000円(本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること)
- (8) 住所票(本要項綴込の用紙-志望専攻、住所、氏名を記入したもの)

5. 入学者選抜方法

(1) 筆記試験及び口頭試問

専 修	筆 記 試 験			口 頭 試 問
	外国語科目	専 修 科 目	日 本 語	
哲 学		哲学	全専修に 課す	提出された 論文及び専 修科目等に ついて
倫 理 学		倫理学		
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験 (サンスクリット, 古典チベット語のうち から1選択) を課すことがある		
中国哲学史		中国哲学史 (漢文読解を含む)		
芸 術 学		芸術学		
日 本 史 学		日本史学		
東 洋 史 学		東洋史学		
朝 鮮 史 学		朝鮮史学		
考 古 学		考古学		
西 洋 史 学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語の うちから1選択	西洋史学		
イスラム文明史学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語の うちから1選択	イスラム文明史学に加えて関連する語学の 試験 (アラビア語, ペルシア語, トルコ語 のうちから1選択) を課すことがある		
地 理 学		地理学		
国語学・国文学		国語学・国文学		
中国文学		中国文学		
英語学・英文学		英語学・英文学		
独 文 学		独文学		
仏 文 学		仏文学		
言 語 学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語の うちから1選択	言語学		

(注) 上記外国語科目中, 母国語を選ぶことはできない。

(2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

第1期試験

試 験 日 時	試験科目	試 験 場
平成22年9月7日(火)	9:30 ~ 11:00	九州大学 国際ホール
	13:30 ~ 16:30	
	17:00 ~ 18:00	
平成22年9月8日(水)	別途指示する。	別途指示する。

第2期試験

試 験 日 時	試験科目	試 験 場
平成23年2月3日(木)	9:30 ~ 11:00	九州大学 国際ホール
	13:30 ~ 16:30	
	17:00 ~ 18:00	
平成23年2月4日(金)	別途指示する。	別途指示する。

(注) 試験場 28頁の位置図を参照

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 第1期 平成22年9月17日(金) } いずれも、午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示する
第2期 平成23年2月10日(木) } と共に、郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は、第1期・第2期とも平成23年2月下旬に送付する。

8. 入学料・授業料等の納入金額

- (1) 入学料 282,000円(予定)
- (2) 授業料 前期分 267,900円(予定)又は前・後期分 535,800円(予定)

(注) 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

9. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail: kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

平成23年度九州大学大学院人文科学府 博士後期課程10月編入学学生募集要項

大学院人文科学府博士後期課程では平成22年度より10月入学の制度を導入しており、下記により募集する。
なお、平成23年10月入学志願者は、今回の試験と平成23年9月実施の入学試験のいずれか、又は両方を受験することができる。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史	地理学	地理学	
		中国哲学史		日本・東洋文学	国語学・国文学
芸術学	芸術学	言語・文学	西洋文学	中国文学	
歴史空間論	日本史学			日本史学	英語学・英文学
	アジア史学		東洋史学	独文学	
			朝鮮史学	仏文学	
考古学		言語学	言語学		
募 集 人 員 若 干 名					

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く

2. 出願資格

- (1) 修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者又は平成23年9月修了見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成23年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23年9月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成23年9月までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年9月30日までに24歳に達する者
- (7) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(出願に関する注意事項)

【注1】有職者の場合は、願書提出前に九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係にその旨申し出ること。

【注2】(6)、(7)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記書類を、平成22年11月25日(木)までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する。日時については別途連絡する。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書・履歴書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 出身大学(学部)長作成のもの
- ・大学の卒業証明書 卒業証明書又は、学士の学位証明書
- ・研究歴証明書 所属機関の長の証明書(様式は自由)
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等、A4判 4,000字以内
- ・研究計画書 A4判の用紙に、2,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間

平成22年12月10日(金)から平成23年1月11日(火)17時まで。

郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1）宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書、受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
- (2) 出身大学（大学院研究科）長の成績証明書
- (3) 大学院修士課程修了（見込）証明書
- (4) 修士の学位論文又はその写し。ただし、修士課程修了者は、新たに作成した論文を提出することができる。
- (5) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）
- (6) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
- (7) 住所票（本要項綴込の用紙 志望専攻、住所、氏名を記入したもの）

備考 (4)に示す論文については、他の出願書類とは別便で送付してもよいが、願書受付期間内に必着のこと。

5. 入学者選抜方法

- (1) 筆記試験及び口頭試問

専修	筆記試験		口頭試問
	外国語科目	専修科目	
哲学	英語、独語、仏語、 中国語、朝鮮語の うちから1選択 (注)	哲学	提出された論文及び 専修科目等について
倫理学		倫理学	
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験（サンスクリット、古典チベット語のうちから1選択）を課すことがある	
中国哲学史		中国哲学史（漢文読解を含む）	
芸術学		芸術学	
日本史学		日本史学	
東洋史学		東洋史学	
朝鮮史学		朝鮮史学	
考古学		考古学	
西洋史学		西洋史学	
イスラム文明史学		イスラム文明史学に加えて関連する語学の試験（アラビア語、ペルシア語、トルコ語のうちから1選択）を課すことがある	
地理学		地理学	
国語学・国文学		国語学・国文学	
中国文学		中国文学	
英語学・英文学		英語学・英文学	
独文学		独文学	
仏文学	仏文学		
言語学	言語学		

(注) 「英語学・英文学」は英語を、「独文学」は独語を、「仏文学」は仏語を、「中国文学」は中国語を選ぶことはできない。

- (2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

試験日	時	試験科目	試験場
平成23年2月3日(木)	9:30~11:00	外国語科目	九州大学 国際ホール
	13:30~16:30	専修科目	
平成23年2月4日(金)	別途指示する。	口頭試問	別途指示する。

(注) 試験場 28頁の位置図を参照
平成23年9月実施の入学試験も受験することができる。

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 平成23年2月10日(木)
午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示すると共に、郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は、平成23年9月中旬に送付する。

8. 入学時期 平成23年10月1日

9. 入学金・授業料等の納入金額

授業料は、入学後に、入学の際に提出した銀行口座から、口座振替により納付することになる。口座振替日は、後期分は10月下旬、前期分は4月下旬(授業料免除申請者を除く。)の大学が指定する日となっている。

なお、授業料免除制度や各種奨学金制度の申請については、入学手続書類で案内する。

初年次納入金(第1学年)

単位(日本円)

納入期	入学金	授業料	合計
入学時	282,000 円	—	282,000 円
平成23年度後期分	—	267,900 円	267,900 円
平成24年度前期分	—	267,900 円	267,900 円
計	282,000 円	535,800 円	817,800 円

上記金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

(参考)

次年次(第2学年)以降納入金

学年	授業料		合計
	当該年度後期分	当該年度前期分	
第2学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円
第3学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円

上記金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

10. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail: kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ] <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>

平成23年度九州大学大学院人文科学府 博士後期課程10月編入学学生募集要項

(社会人博士養成コース)

大学院人文科学府博士後期課程（社会人博士養成コース）では平成22年度より10月入学の制度を導入しており、下記により募集する。なお、平成23年10月入学志願者は、今回の試験と平成23年9月実施の入学試験のいずれか、又は両方を受験することができる。

このコースは、研究・教育職に就いた者で、現在活発な研究・教育活動を続けている者に、博士号の取得の道を開くために設けられた。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			国語学・国文学
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	中国文学		
歴史空間論	日本史学		言語・文学	西洋文学	英語学・英文学
アジア史学	東洋史学	独文学			
	朝鮮史学	仏文学			
	考古学	言語学			
募 集 人 員 若 干 名					

このコースに出願しようとする者は、表に示す専攻・分野・専修を考慮の上、希望する指導教員（予定）と、内容等について事前に相談すること。

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格

大学等の研究・教育機関に在職（見込）の者で、研究・教育等の職に従事している者

- (1) 修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
（大学を卒業し、又は2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められた者）
- (6) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成23年9月30日までに24歳に達する者
- (7) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(出願に関する注意事項)

【注1】出願資格について不明な点があれば九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係に照会すること。

【注2】(6)、(7)により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、下記の書類を、平成22年11月25日（木）までに本学府へ提出すること。個別の入学資格審査を本学府で実施する。日時については、別途連絡する。

- ・事前審査申請書 (本学府所定の用紙：事前に別途請求ください。)
- ・入学願書・履歴書 (本学府所定の用紙)
- ・成績証明書 出身大学（学部）長作成のもの
- ・大学の卒業証明書 卒業証明書又は、学士の学位証明書

- ・研究歴証明書 所属機関の長の証明書（様式は自由）
- ・研究事項報告書 これまでの研究概要等，A4判 4,000字以内
- ・研究計画書 A4判の用紙に，2,000字以内
- ・その他の参考資料 学術論文等

3. 願書受付期間

平成22年12月10日（金）から平成23年1月11日（火）17時まで。 郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1）宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書、受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm，3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
 - (2) 在職証明書（在職期間を明示）及び所属長の出願同意書、又は雇用予定書等
 - (3) 出身大学（大学院研究科）長の成績証明書
 - (4) 大学院修士課程修了証明書
 - (5) 修士の学位論文又はその写し。ただし、修士課程修了者は新たに作成した論文を提出することができる。
 - (6) 研究計画書
 - (7) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）
 - (8) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
 - (9) 住所票（本要項綴込の用紙（シール）に志願者の専攻、住所、氏名を記入すること）
- 備考 (5)に示す論文については、他の出願書類とは別便で送付してもよいが、願書受付期間内に必着のこと。

5. 入学者選抜方法

- (1) 口頭試問 専修科目と提出された論文に関わる口頭試問
- (2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

試験日	試験科目	時間	試験場
平成23年2月4日（金）	口頭試問	別途指示する。	

（注）平成23年9月実施の入学試験も受験することができる。

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 平成23年2月10日（木）
午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示すると共に、郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は、平成23年9月中旬に送付する。

8. 入学時期 平成23年10月1日

9. 入学料・授業料等の納入金額

授業料は、入学後に、入学の際に提出した銀行口座から、口座振替により納付することになる。口座振替日は、後期分は10月下旬、前期分は4月下旬（授業料免除申請者を除く。）の大学が指定する日となっている。

なお、授業料免除制度や各種奨学金制度の申請については、入学手続書類で案内する。

初年次納入金（第1学年）

単位（日本円）

納入期	入学料	授業料	合計
入学時	282,000 円	—	282,000 円
平成23年度後期分	—	267,900 円	267,900 円
平成24年度前期分	—	267,900 円	267,900 円
計	282,000 円	535,800 円	817,800 円

上記金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

(参考)

次年次（第2学年）以降納入金

学 年	授業料		合 計
	当該年度後期分	当該年度前期分	
第2学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円
第3学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円

上記金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

10. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒（角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付）を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356 (貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail : kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

平成23年度九州大学大学院人文科学府 博士後期課程10月編入学学生募集要項

(外国人留学生入試)

大学院人文科学府博士後期課程（外国人留学生入試）では、平成22年度より10月入学の制度を導入しており、下記により募集する。なお、平成23年10月入学志願者は、今回の試験と平成23年9月実施の入学試験のいずれか、又は両方を受験することができる。

1. 専攻、分野、専修及び募集人員

専攻	分野	専修	専攻	分野	専修
人文基礎	哲学・倫理学	哲学	歴史空間論	広域文明史学	西洋史学
		倫理学			イスラム文明史学
	東洋思想	インド哲学史		地理学	地理学
		中国哲学史			
芸術学	芸術学	日本・東洋文学	国語学・国文学		
歴史空間論	日本史学	日本史学	言語・文学	西洋文学	中国文学
	アジア史学	東洋史学			英語学・英文学
		朝鮮史学		独文学	
		考古学		仏文学	
			言語学	言語学	
募 集 人 員 若 干 名					

歴史空間論専攻に歴史学拠点コースを置く。

2. 出願資格

外国人留学生として入学を志願できる者は、留学の目的をもって日本に入国した外国人又は入国しようとする外国人で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成23年9月までに授与される見込みの者
- (2) 日本の大学の修士課程を修了した者及び専門職学位を有する者又は平成23年9月修了見込の者
- (3) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

3. 願書受付期間

平成22年12月10日（金）から平成23年1月11日（火）17時まで。 郵送する場合もこの期間内に必着のこと。

4. 出願手続

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第一係（〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1）宛に郵送すること。又は、本人が直接学生第一係窓口へ提出すること。

- (1) 入学願書・履歴書（小学校入学以後の学歴、職歴等を明細に記入すること）、受験票（いずれも本要項綴込の用紙）及び写真3葉（縦3.5cm×横2.8cm、3か月以内に撮影したものを願書及び受験票に貼付すること）
- (2) 最終出身学校の成績証明書
- (3) 修了（見込）証明書及び推薦書
- (4) 日本語の能力についての証明書
- (5) 専修科目についての論文
日本史学と国語学・国文学を志望する者の提出する論文は日本語のものに限る。
- (6) 受験票送付のため、本要項綴込の封筒を使用し、宛名及び郵便番号を明記の上、350円切手を貼付のこと。
- (7) 検定料30,000円（本要項綴込の「振込依頼書」及び「入学検定料原符」を使用すること）
- (8) 住所票（本要項綴込の用紙 - 志望専攻、住所、氏名を記入したもの）

5. 入学者選抜方法

(1) 筆記試験及び口頭試問

専 修	筆 記 試 験			口 頭 試 問
	外国語科目	専 修 科 目	日 本 語	
哲 学		哲学	全専修に課す	提出された論文及び専修科目等について
倫 理 学		倫理学		
インド哲学史		インド哲学史に加えて関連する語学の試験(サンスクリット, 古典チベット語のうちから1選択)を課すことがある		
中国哲学史		中国哲学史(漢文読解を含む)		
芸 術 学		芸術学		
日 本 史 学		日本史学		
東 洋 史 学		東洋史学		
朝 鮮 史 学		朝鮮史学		
考 古 学		考古学		
西 洋 史 学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語のうちから1選択	西洋史学		
イスラム文明史学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語のうちから1選択	イスラム文明史学に加えて関連する語学の試験(アラビア語, ペルシア語, トルコ語のうちから1選択)を課すことがある		
地 理 学		地理学		
国語学・国文学		国語学・国文学		
中 国 文 学		中国文学		
英語学・英文学		英語学・英文学		
独 文 学		独文学		
仏 文 学		仏文学		
言 語 学	英語, 独語, 仏語, 中国語, 朝鮮語のうちから1選択	言語学		

(注) 上記外国語科目中, 母国語を選ぶことはできない。

(2) 論文審査 提出された論文の審査

6. 試験日時及び試験場

試 験 日 時	試験科目	試 験 場
平成23年2月3日(木)	9:30 ~ 11:00	九州大学 国際ホール
	13:30 ~ 16:30	
	17:00 ~ 18:00	
平成23年2月4日(金)	別途指示する。	別途指示する。

(注) 試験場 28頁の位置図を参照
平成23年9月実施の入学試験も受験することができる。

7. 合格者発表及び入学手続書類の送付

- (1) 平成23年2月10日(木)
午前9時に貝塚地区事務部教務課学生第一係前掲示板に掲示すると共に、郵送により本人に通知する。
- (2) 入学手続書類は、平成23年9月中旬に送付する。

8. 入学時期 平成23年10月1日

9. 入学料・授業料等の納入金額

授業料は、入学後に、入学の際に提出した銀行口座から、口座振替により納付することになる。口座振替日は、後期分は10月下旬、前期分は4月下旬(授業料免除申請者を除く。)の大学が指定する日となっている。

なお、授業料免除制度や各種奨学金制度の申請については、入学手続書類で案内する。

初年次納入金(第1学年)

単位(日本円)

納入期	入学料	授業料	合計
入学時	282,000 円	—	282,000 円
平成23年度後期分	—	267,900 円	267,900 円
平成24年度前期分	—	267,900 円	267,900 円
計	282,000 円	535,800 円	817,800 円

上記金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

(参考)

次年次(第2学年)以降納入金

学 年	授業料		合 計
	当該年度後期分	当該年度前期分	
第2学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円
第3学年	267,900 円	267,900 円	535,800 円

上記金額は、予定額であり、改定が行われた場合には、新たな授業料が適用される。

10. その他

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒(角形2号33cm×24cmに、住所、氏名、郵便番号を明記し、390円切手を貼付)を同封のうえ、封筒表面に「博士後期課程募集要項請求」と朱書して申し込むこと。
- (2) 出願書類を郵便で提出する場合は必ず書留便とし、封筒表面には「大学院入試関係書類」と朱書すること。
- (3) 出願手続後における書類の変更、検定料の払戻しは一切行わない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については、検定料を返還する。
- (4) 提出論文は口頭試問終了後、本人に返却する。

九州大学大学院人文科学府

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 19 1

TEL 092 642 2356(貝塚地区事務部教務課学生第一係)

e-mail : kakgakuseil@jimu.kyushu-u.ac.jp

[人文科学府ホームページ <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp>]

筆記試験試験場位置図



地下鉄箱崎九大前駅より徒歩10分
 地下鉄貝塚駅より徒歩10分
 九大北門バス停より徒歩3分

教員一覧及び主な研究事項

(平成22年5月現在)

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
人 文 基 礎	哲学・倫理学	哲学	円谷 裕二 教授	近現代哲学 存在論, 認識論, 実践哲学 (倫理, 法哲学, 政治哲学), 美学・芸術論等についての体系的かつ歴史的な研究。 著書 『近代哲学の射程 有限と無限のあいだ』(放送大学教育振興会, 2003) 『経験と存在 カントの超越論的哲学の帰趨』(東京大学出版会, 2002) ほか 論文 「知覚の存在論 メルロ＝ポンティの『見えるものと見えないもの』に即して」(『現象学年報』, 2006)
			菊地 惠善 教授	近現代哲学 特に, ヘーゲルを中心としたドイツ観念論の研究, ハイデガーを中心とした現象学的存在論の研究, そして, 生命倫理や環境倫理などの現代倫理学の研究。 論文 「存在論的差異について」(『理想』第680号, 2008) 「仮定か事実か ニーチェの永遠回帰思想について」(『西日本哲学年報』第15号, 2007) 「道徳の根拠をめぐる問い カントとヘーゲルの対立を超えて」(『講座ドイツ近・現代哲学』, 理想社, 2004)
			岩田 圭一 准教授	古代哲学 アリストテレスの形而上学, 自然学, 倫理学を主な研究対象としている。また, 古典期の哲学がヘレニズム期以降どのように受容され変容されたのかという問題にも関心がある。 論文 「実体と形相 アリストテレスの実体論における離在可能性の問題」(『西日本哲学年報』第17号, 2009) 「アリストテレス『形而上学』Z巻第十三章における『普遍』の問題」(『哲学年報』第68輯, 2009) 「現実態としての魂」(『立正大学文学部研究紀要』2008)
		倫理学	細川 亮一 教授	西洋近・現代倫理学 西洋近・現代倫理学の研究。さらにドイツ観念論, 現象学, 存在論の研究。 著書 『意味・真理・場所 ハイデガーの思惟の道』(創文社, 1992) 『ハイデガー哲学の射程』(創文社, 2000) 『ハイデガー入門』(筑摩書房, 2001) 『形而上学者 ウィトゲンシュタイン』(筑摩書房, 2000) 『ヘーゲル現象学の理念』(創文社, 2002) 『アインシュタイン 物理学と形而上学』(創文社, 2004) 『純化の思想家ルソー』(九州大学出版会, 2007)
			宮島 磨 准教授	日本倫理思想史 仏教を中心とする中世日本倫理思想, および近代日本倫理思想史の研究。 論文 「『観経疏』(『散善義』)における『抑止門』釈をめぐる」(『哲学論文集』2003) 「『三宝絵』における『仏宝』巻の位置」(『哲学年報』, 2005) 「親鸞における『真』と『偽』」(『哲学年報』, 2006) など 翻訳 「ワング『仏教』」(青土社 改訳新版 2004)
			吉原 雅子 講師	現代倫理思想 道徳にかかわる命題の言語の観点からの研究。特に, 規範命題と事実命題についての研究, 決定論と責任の両立性をめぐる問題の研究。 論文 「信念文が不透明である理由」(『科学基礎論研究』第94号, 2000) 「Is から Ought は導けるか」(『お茶の水女子大学人間文化研究年報』第25号, 2002) 「道徳法則の妥当性と個別主義」(『哲学年報』第68輯, 2009) など

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項	
人 文 基 礎	東洋思想	インド哲学史	岡野 潔 教授	インド仏教文献学 特にサンスクリット語・パーリ語・チベット語で伝えられるインド部派仏教のコスモロジー文献、仏伝（仏陀の伝記文学）や説話文学が、研究の重点領域。ネパールの写本に基づく仏教文献の原典批判研究を行う。 著書 Sarvarakṣītas Mahāsaṃvartanīkathā. Ein Sanskrit-Kāvya über die Kosmologie der Sāṃmitāya-Schule des Hīnayāna-Buddhismus (Dissertation) 論文 「新発見のインド正量部の文献」 など	
			片岡 啓 准教授	古典インドの宗教・思想・文化 サンスクリット語で書かれた教学・理論書を研究対象とする。聖典解釈学を中心に、論理学・神学・仏教認識論。インド内外でのサンスクリット写本調査・写本に基づく哲学書の原典校訂、思想史研究に従事する。論書・文学・タントラの三分野をバランスよくカバーすべく、最近はシヴァ教・戯曲・詩論にまで関心を広げている。 著書 『古典インドの祭式行為論：Śābarabhāṣya & Tantravārttika ad 2. 1. 1-4 原典校訂・訳注研究』（山喜房佛書林，2004）	
		中国哲学史	柴田 篤 教授	中国近世思想史 朱子学・陽明学を中心とした儒学思想、及び明末清初天主教思想史を研究。 著書 『中村楊斎』（明德出版社『叢書・日本の思想家』，1983） 訳書 『天主実義』（利瑪竇著，平凡社『東洋文庫』，2004） 論文 「言と心 王陽明思想の一断面」，「明末天主教の靈魂観」 など	
			南澤 良彦 准教授	中国古代中世思想史 中国古代及び中世、主として漢代から南北朝時代にかけての思想の流れを、儒教を中心に研究。 論文 「『帝王世紀』の成立とその意義」，「張衡の宇宙論とその政治的側面」 など	
		芸術学	芸術学	後小路 雅弘 教授	アジア近現代美術史、美術館学 東南アジアを中心にアジアの近代美術史及び現代美術に関わる諸問題と、美術館をめぐる諸問題、大学とアートにかかわる問題を研究。 共著 『アジアの美術』（美術出版社，2002） 論文 「帝国大学のパブリックアート 青山熊治「九州大学工学部壁画」 『美術研究』 389号）など
				井手 誠之輔 教授	東洋美術史 宋元時代の仏画を中心に、東アジアの美術に関わる諸問題を研究。 著書 『日本の宋元仏画』（日本の美術418号，至文堂，2001） 共著 『世界美術大全集・東洋編5 北宋・遼・西夏』（小学館，1998）
	京谷 啓徳 准教授			西洋美術史 ルネサンス期イタリア美術に関わる諸問題を研究。 著書 『ボルソ・デステとスキファノイア壁画』（中央公論美術出版 2003） 共著 『ポッティチェリ全作品』（中央公論美術出版，2005）	
	東口 豊 准教授			近現代美学、音楽美学 現代ドイツ美学を中心に、音楽、自然などの諸問題について研究。 論文 「アドルノにおける否定弁証法とミメシスの問題」（『美学』1998） 「Th.W. アドルノにおける藝術作品の自然性」（『美学藝術学研究』2001）他	
	歴史空間論	日本史学	日本史学	坂上 康俊 教授	奈良・平安時代史 律令国家の成立・展開・変容の過程を制度的側面から研究。 著書 『律令国家の転換と「日本」』（講談社学術文庫，2009） 共編 『唐令拾遺補』（東京大学出版会，1997）
				佐伯 弘次 教授	日本中世史 中世九州の地域史及び東アジアとの交流史を研究。 著書 『日本の中世9 モンゴル襲来の衝撃』（中央公論新社，2004） 論文 「室町期の博多商人宗金と東アジア」（『史淵』136輯，1999） など

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
歴史空間論	日本史学	日本史学	岩崎 義則 准教授	日本近世史 近世の長崎と銅貿易及び平戸藩政史を研究。共編『県立長崎図書館郷土史料叢書 [一] ~ [五]』(2001~2005) 共著『近世の佐世保』(佐世保市, 2002) 論文「寛保 寛延期の貿易改革と銅統制策」(『住友史料館報』第34号, 2003)
			山口 輝臣 准教授	日本近代史 宗教などを視野に入れつつ, 政治史・思想史を研究。 著書『明治国家と宗教』(東京大学出版会, 1999) 『明治神宮の出現』(吉川弘文館, 2005) 共編『木戸孝允関係文書』(東京大学出版会, 2005~)
	アジア史	東洋史学	川本 芳昭 教授	東アジア古代・中世史 中国を中心とした東アジア古代・中世の政治史, 民族問題, 国際関係について研究。 著書『魏晋南北朝時代の民族問題』(汲古書院, 1998) 『中国史のなかの諸民族』(山川出版社, 2004) 『中華の崩壊と拡大』(講談社, 2005) など
			中島 楽章 准教授	中国近世史・東アジア海域史 宋元・明清時代の社会結合・文書史料・商業流通などを研究。14~18世紀の東アジア海域史における貿易・外交・人的交流についても研究を進めている。 著書『明代郷村の紛争と秩序』(汲古書院, 2002) 『徽州商人と明清中国』(山川出版社, 2009) 論文「16世紀末の九州 東南アジア貿易」(『史学雑誌』118編8号, 2009) など
			船田 善之師 講師	内陸アジア史, 東アジア史 10~15世紀, とくにモンゴル治下の多民族・多言語社会の諸相, かかる社会に対する統治制度を研究。当該時期の石刻・文書の現地調査と史料研究も平行して進めている。 共著『ハラホト出土モンゴル文書の研究』(雄山閣, 2008) 論文「元代の命令文書の開読について」(『東洋史研究』63-4, 2005) 「蒙文直訳体の展開」(『内陸アジア史研究』22, 2007) など
		朝鮮史学	濱田 耕策 教授	朝鮮古代史及び日朝文化交流史 朝鮮古代の歴史を東アジア世界との関連において研究。現在は, 特に新羅, 高句麗, 百濟, 渤海の諸制度を内政, 制度, 対外関係, 文化の面において比較研究している。また, 梵鐘と書籍の日朝交流史を調査中。 著書『渤海国興亡史』(吉川弘文館, 2000) 『新羅国史の研究』(吉川弘文館, 2002) など
			森平 雅彦 准教授	朝鮮中世・近世史, 東アジア交渉史 朝鮮中世・近世の国際関係(政治・外交, 文化交流, 陸海の交通など)及び社会文化(文字文化, 生活知など)を研究。また水環境と人の暮らしをテーマに現地を歩いている。 著書『朝鮮の歴史』(共著, 昭和堂, 2008), 論文「牒と咨のあいだ 高麗王と元中書省の往復文書」(『史淵』144), 「高麗における宋使船の寄港地「馬島」の位置をめぐって」(『朝鮮学報』207) など
			考古学	宮本 一夫 教授
	辻田 淳一郎 准教授	日本考古学 日本列島の古代国家形成過程について比較考古学的観点から研究。 著書『鏡と初期ヤマト政権』(すいれん舎, 2007) 論文「威信財システムの成立・変容とアイデンティティ」(『東アジア古代国家論』すいれん舎, 2006) など		

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項	
歴史 空間 論	広域文明 史学	西洋史学	神 實 秀 夫 教授	西洋近世史 ドイツ中世(後期)・近世の君主権 中間権力 平民間の統治体制史を論究。 著書 『近世ドイツ絶対主義の構造』(創文社, 1994) 『中・近世ドイツ都市の統治構造と変質』(創文社, 2010), など 論文 “ Zur verfassungsgeschichtlichen Bedeutung des Landesdefensio nswesens ” (ZHF 19 - 3, 1992), など	
			山 内 昭 人 教授	西洋現代史及びインタナショナル(国際社会主義)史 戦争と平和, そして革命の時代としての20世紀前半を, 国際社会主義・労 働運動を梃子に政治史, 思想史及び社会史的方法で研究。 著書 『リュートヘルスとインタナショナル史研究』(ミネルヴァ書房, 1996) 『初期コミンテルンと在外日本人社会主義者』(ミネルヴァ書房, 2009)	
			岡 崎 敦 准教授	フランス中世史 北フランスを対象とする教会制度史。西欧中世史科学。 論文 『西欧中世における記憶の管理とアーカイヴズ』(『史淵』146輯, 2009) 『西洋中世史料論と日本学界』(『西洋史学』223号, 2006) など	
		イスラム 文明史学	清 水 宏 祐 教授	イラン史 セルジューク朝時代史研究。 共著 『西アジア史・』(山川出版社, 2002) 著書 『イスラーム農書の世界』(山川出版社, 2007)	
			清 水 和 裕 准教授	アラブ史・初期イスラム史 アッパース朝を対象として政治史, 軍事・行財政制度, そして社会におけ る民衆の運動などを研究。 著書 『軍事奴隷・官僚・民衆: アッパース朝解体期のイラク社会』(山川 出版社, 2005)	
		地理学	地理学	高 木 彰 彦 教授	人文地理学(特に政治地理学) 選挙制度や地方行政制度に関する地理学的視点からの研究, 地政学研究, 地理思想と地理認識に関する研究。 著書 『空間の政治地理』(朝倉書店, 2005, 共著) など
	遠 城 明 雄 教授			人文地理学, 都市研究 近現代の都市形成と都市社会の変容および都市・農村関係に関する研究, 空間・場所論の学説史の研究。 共著 『人文地理学』(ミネルヴァ書房, 2009) 『近代日本の企業家と政治』(吉川弘文館, 2009) 『都市空間の地理学』(ミネルヴァ書房, 2006) など 共訳著 『パリ モダニティの首都』(青土社, 2006) など	
	言語 ・ 文学	日本・ 東洋文学	国語学・ 国文学	高 山 倫 明 教授	日本語史 万葉仮名文献や中国資料を中心とした日本語音韻史・表記史の研究。 論文 「字音声調と日本語のアクセント」(2003) 「四つ仮名と前鼻音」(2006) 「音節構造と字余り論」(2006) など
				辛 島 正 雄 教授	日本中古・中世文学 作り物語の歴史の変遷を中心に研究。 著書 『中世王朝物語史論』(笠間書院, 2001) 中世王朝物語全集 『小夜衣』(笠間書院, 1997) 共著 新日本古典文学大系 『とりかへばや物語』(岩波書店, 1992) など
				青 木 博 史 准教授	日本語史 中世を中心とした日本語文法史の研究。 編著 『日本語の構造変化と文法化』(ひつじ書房, 2007) 論文 「補助動詞「～オル」の展開」(2008) 「動詞重複構文の歴史」(2009) など
川 平 敏 文 准教授				日本近世文学 江戸学芸史, 特に徒然草注釈史の研究。 著書 『近世兼好伝集成』(平凡社, 2003) 『兼好法師の虚像』(平凡社, 2006) 論文 「俳諧寓言説の再検討」(2007), など	

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
言	日本・東洋文学	中国文学	竹村 則行 教授	中国古典文学 主に清朝文学史、洪昇『長生殿』を研究。最近のテーマ：楊貴妃、中国文学史、孔子像と孔子画伝。 共著 『長生殿箋注』（中州古籍出版社、1999） 著書 『驚鴻記校注』（中国書店、2007） 『楊貴妃文学史研究』（研文出版、2003） 『説倭伝』（花書院、2000）
			静永 健 准教授	中国古典文学 主に漢魏六朝より唐宋に至る詩文の研究。近年は白居易を中心とする唐代文学及びその日本文学への影響を研究。 著書 『漢籍伝来 白楽天の詩歌と日本』（勉誠出版、2010） 『白居易「諷諭詩」の研究』（勉誠出版、2000） 編著(主編) 『から船往来 日本を育てた ひと・ふね・まち・こころ』（中国書店、2009） 『漢籍と日本人』（勉誠出版・アジア遊学 93・116、2006・2008）など
			戚世 隼 招聘外国人教師	中国古典文学、中国語学 中国古代戯曲研究。特に中国明代戯曲を研究。 著書 『明代雑劇研究』（広東高等教育出版社、2000） 共著 『明清文学史』（中山大学出版社、1999）など
語	西洋文学	英語学・英文学	村井 和彦 教授	イギリス文学 イギリス・ルネッサンス演劇とくにシェイクスピアの作品をケース・スタディとする人間の行為と言語の関係の究明。 共著 『エリザベス朝の復讐悲劇』（英宝社、1997） 論文 「『コリオレイナス』における帽子の政治性」(<i>Shakespeare News</i> , vol. 44, no.3, 2005)
			西岡 宣明 教授	英語学 部分否定、文否定、否定対極表現などの日・英比較を含む否定現象の研究、省略、代名詞による指示の問題などの照応現象の研究。 著書 『英語否定文の統語論研究 素性照合と介在効果』（くろしお出版、2007） 論文 “Quantifiers and Negation: A Minimalist Approach to Partial Negation,” (<i>English Linguistics</i> vol.21, 2, 日本英語学会, 2004)
			鷓飼 信光 准教授	イギリス文学 エミリー・ブロンテ、オースティン、ディケンズ、ハーディ、ワイルドなどの十九世紀の小説家の研究、ウルフ、E. M. フォースターなどの二十世紀の小説家の研究、イギリス小説における自己の表現の研究。 共著 『英文学と道徳』（園井英秀編、九州大学出版会、2005） 論文 “Nature’s Rule over Self in Thomas Hardy’s <i>Tess of the d’Urbervilles</i> ” (『文学研究』第105号、九州大学大学院人文科学研究科、2008)
			高野 泰志 准教授	アメリカ文学 アーネスト・ヘミングウェイをはじめとするアメリカ小説、および医学と身体論、セクシャリティ研究など。 共著 『アーネスト・ヘミングウェイの文学』（ミネルヴァ書房、2006） 著書 『引き裂かれた身体 ゆらぎの中のヘミングウェイ文学』（松籟社、2008） 論文 「素脚を見せるブレット・アシュリー 矛盾する欲望と『日はまた昇る』」(『ヘミングウェイ研究』第9号、日本ヘミングウェイ協会、2008)
			スティーブン・レイカー 招聘外国人教師	英語学、特に史的音韻論 英語の歴史的音変化研究、方言研究、比較言語学。 論文 “An Explanation for the Early Phonemicisation of a Voice Contrast in English Fricatives,” <i>English Language and Linguistics</i> 13 (2), 213 - 226, 2009. “Changing Views about Anglo-Saxons and Britons,” In Henk Aertsen & Bart Veldhoen (eds.), <i>Six papers from the 28th Symposium on Medieval Studies held at the Vrije Universiteit Amsterdam on 15 December 2006</i> . Leiden: University Department of English, 1-38, 2008. “The English negative comparative particle,” <i>Transactions of the Philological Society</i> 106(1), 1 - 28, 2008.

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
言語学	西洋文学	英語学・英文学	タラス・A・サック 招聘外国人教師	アメリカ文学 メルヴィル、フィッツジェラルド、ピンチョン、デリロ等、19世紀および20世紀のアメリカ文学。 論文 “ ‘Is That You, John Wayne?’ Clarity, Resolution and Narrative in Caputo’s <i>A Rumor of War</i> ” (<i>Philologia</i> , No.39, 2008) “ Death is a Master from Germany ’: Paranoia and Desire in DeLillo’s <i>White Noise</i> ” (<i>Philologia</i> , No.38, 2007). “ Shall I project a world? Immanence and Affect in <i>The Crying of Lot 49</i> ” (<i>Studies in American Literature</i> , American Literature Society, Chugoku-Shikoku Chapter, No.43, 2007)
		独文学	小黒康正 教授	ドイツ近現代文学 ドイツ文学における黙示録、トーマス・マン、パッサン、 <i>「水の精の物語」</i> などの研究。 著書 『黙示録を夢みる時 トーマス・マンとアレゴリー』 (鳥影社, 2001) 論文 「トポス『水の精の物語』の身体論的考察 ホメロスからゲーテまで」 (2003)
			バルバラ・ヨハナ・クレマ 招聘外国人教師	ドイツ語教授法 言語習得理論の研究。ヨーロッパと日本における言語政策の比較研究。 論文 Barbara Klema u. Satoshi Hashimoto: Englisch ist wichtig, Chinesisch ist nützlich in Zukunft, Deutsch ist schwierig. Argumente für den L3-Unterricht an japanischen Hochschulen. In: Zeitschrift für interkulturellen Fremdsprachenunterricht. Bd.12-1 (2007); Barbara Klema: Und sie vergleichen doch. Eine Befragung unter japanischen Deutschlernenden zu Englisch als 1. Fremdsprache. In: Info DaF. 2006-4.
		仏文学	吉井亮雄 教授	フランス近現代文学 19世紀末から20世紀前半のフランス文学を対象として実証的・文学史的な観点から研究。とりわけ自筆稿類の調査・分析にもとづくアンドレ・ジイド作品の研究。 著書 『ジイド『放蕩息子の帰宅』校訂版』 (九州大学出版会, 1992) 翻訳 クロード・マルタン 『アンドレ・ジイド』 (九州大学出版会, 2003)
			高木信宏 准教授	フランス近代文学 19世紀のロマン主義文学, 特にスタンダールの小説作品を対象とする実証的・文学史的な研究。 著書 『スタンダール 小説の創造』 (慶應義塾大学出版会, 2008) 論文 “ De la source au texte. Un aspect de la création dans <i>Le Rouge et le Noir</i> ” (<i>HB. Revue internationale d’études stendhaliennes</i> , n° 9 - 10, 2005 - 2006)
			エルベ=ピエール・ランベール 招聘外国人教師	フランス現代文学・比較文学 オクタヴィオ・パスの作品を中心にメキシコ文学や現代フランス文学を対象とする比較文学的研究。 博士論文 <i>Octavio Paz et l’Orient</i> , (Presses de l’ENS, Lettres et Sciences Humaines, 2009 - 2010) 論文 “ L’hypermnésie dans la littérature ”, (<i>TLE</i> , Université Paris VIII, printemps 2009)
	言語学	言語学	稲田俊明 教授	生成文法理論及び英語統語論 言語理論の諸問題, 言語習得と動的な文法理論, 補文構造の研究。 著書 『補文の構造』 (大修館, 1989), 共著 『生成文法』 (岩波書店, 1998), 論文 「間接疑問文の選択と補文構造」 (『言語研究の潮流』 開拓社, 1999)
			坂本勉 教授	心理言語学 言語学の理論をベースに, 実験的手法を用いて日本語の「文理解」を研究。 著書 <i>Processing Empty Subjects in Japanese: Implications for the Transparency Hypothesis</i> . (Kyushu University Press, 1996) 編著 <i>Communicating Skills of Intention</i> . (Hituzi Shobo Publishing, 2007) 共著 『言語学の方法 現代言語学入門 第1巻』 (岩波書店, 1999) 論文 「構文解析における透明性の仮説」 (『認知科学』, 1995)

専攻	分野	専修	教員名	主な研究事項
言語 ・ 文学	言語学	言語学	久保智之教授	音韻論・形態論 満洲語，モンゴル語，日本語などの東北／東アジア諸言語を対象とした音韻論，形態論，音韻論と統語論の境界領域。 論文 「のさことば」とアクセント（『筑紫国語学論叢』風間書房，2001）， “Reduplication Meduplication in Khalkha Mongolian”（『言語研究』112号，1997）
			上山あゆみ准教授	生成文法および日本語統語論 経験科学としての文法研究を進めるための方法論。日本語の様々な構文の統語構造。照応関係をつかさどる文法の仕組みについて。 著書 『はじめての人の言語学』（くろしお出版，1991） 『生成文法の考え方』（研究社，2004） 『論文を書くためのWord 利用法』（くろしお出版，2009） 論文 「日本語から見える「文法」の姿」（『日本語学』4月臨時増刊号，2000）